



令和8年6月25日

各位

会社名 ファーマライズホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 秋山 昌之  
(東証スタンダード・コード番号 2796)  
問合せ先 取締役 沼田 豊  
(TEL. 03—3362—7130)

### 令和8年5月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

令和7年6月25日に公表いたしました令和8年5月期通期連結業績予想について、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想との差異について

令和8年5月期通期連結業績予想との差異（令和7年6月1日～令和8年5月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想 (A)	66,795	1,123	941	266	23.45
実績値 (B)	69,512	979	715	114	10.01
増減額 (B-A)	2,717	△143	△225	△151	—
増減率 (%)	4.1%	△12.8%	△24.0%	△57.0%	—
(ご参考)前期実績 (令和7年5月期)	63,508	293	136	△367	△32.48

#### 2. 差異の理由

調剤薬局事業においては、医療機関における処方日数長期化の影響により、処方せん応需枚数は当初予想を下回ったものの、処方せん単価が予想を上回ったことに加え、当社連結子会社であるGOOD AID株式会社及びnext PH株式会社の決算期を3月から5月に変更し、14カ月間の連結を行ったことから、売上高は前回予想を上回りました。

一方、利益面については、調剤薬局事業において処方せん1枚当たりの薬剤料売上高の増加にともなう租税公課の増加に加え、M&A関連費用の発生により販管費が増加したことで、若干の未達となりました。また、物販事業及びその他事業（有料職業紹介、訪問看護）において業績が当初予想を下回りました。

これらの結果、営業利益は当初予想を下回り、営業外費用として、M&Aに関する資金調達にともなう金融費用が増加したこともあり、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても当初予想を下回りました。

以上